

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

**特許第3797460号
(P3797460)**

(45) 発行日 平成18年7月19日(2006.7.19)

(24) 登録日 平成18年4月28日(2006.4.28)

(51) Int. Cl.		F I			
HO2B	1/40	(2006.01)	HO2B	9/00	A
HO2B	1/30	(2006.01)	HO2B	1/08	J

請求項の数 1 (全 5 頁)

<p>(21) 出願番号 特願平11-151473 (22) 出願日 平成11年5月31日(1999.5.31) (65) 公開番号 特開2000-341807(P2000-341807A) (43) 公開日 平成12年12月8日(2000.12.8) 審査請求日 平成14年8月23日(2002.8.23)</p>	<p>(73) 特許権者 000124591 河村電器産業株式会社 愛知県瀬戸市暁町3番86 (72) 発明者 水野 浩司 愛知県瀬戸市暁町3番86 河村電器産業 株式会社内 審査官 山本 忠博 (56) 参考文献 実開平05-084109(JP,U) 実開平05-074105(JP,U) 実開平04-103686(JP,U) 特開平08-149617(JP,A)</p>
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 住宅用分電盤

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

基台に主幹ブレーカと複数の分岐ブレーカを載置し、前記基台をカバーで被覆して成る住宅用分電盤において、前記カバーには、負荷名称を表示するための陥没部を設けると共に、該陥没部の周縁部には嵌合突起を設け、前記分岐ブレーカの負荷名称を記入した負荷名称記入紙は、図面収納用カバーに挟持させ、図面を前記陥没部に載置し、前記図面収納用カバーを前記嵌合突起に嵌合させることを特徴とする住宅用分電盤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、負荷名称表示と図面収納の構造を一体成形した図面収納用カバーを有する住宅用分電盤に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、住宅用分電盤は、図6に示すように、主幹ブレーカ41と複数の分岐ブレーカ42を載置した基台43に、図面44は適当な大きさに折りたたんで、機器の隙間に収納していた。

【0003】

また、扉付きの住宅用分電盤の場合は、図7に示すように、従来図面ケース51を別部品で成形し、扉52の裏面に粘着テープ等で取り付け、図面53は、図面ケース51に収

納していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、図6に示す従来技術によれば、活線の状態では図面44を収納、または取り出す場合、配線に触れ感電してしまう虞があった。

【0005】

また、図7に示す扉付きの住宅用分電盤では、扉52の裏面に図面ケース51を取り付けるためのスペースを確保しなけりなかつた。また、図面52が図面ケース51からはみだしたりすると、ブレーカのハンドルに図面53が触れて、誤操作してしまう虞があった。

10

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記従来の問題点に鑑み、本発明は、図面をカバーを開けることなく容易に取り出しまたは収納することができる住宅用分電盤を提供することを目的とし、その構造は、カバーには、負荷名称を表示するための陥没部を設けると共に、陥没部の周縁部には嵌合突起を設け、分岐ブレーカの負荷名称を記入した負荷名称記入紙は、図面収納用カバーに挟持させ、図面を陥没部に載置し、図面収納用カバーを嵌合突起に嵌合させることである。

【0007】

【発明の実施の形態】

本発明に係る住宅用分電盤は負荷名称を記入した負荷名称記入紙を図面収納用カバーで保持し、図面を分電盤のカバーに載置して、図面収納用カバーで被覆することで負荷名称表示の構造と図面収納の構造とを一体成形する。

20

【0008】

【実施例】

本発明に係る実施例を図1～図5の添付図面に基づいて説明する。

【0009】

本発明に係る住宅用分電盤は、図1に示すように、基台1に主幹ブレーカ2と複数の分岐ブレーカ3を載置し、基台1はカバー4で被覆する。また、図2に示すように、カバー4にはブレーカ2、3の操作ハンドルを突出させるための開口5が設けられ、その開口5の近傍には陥没部6が設けられる。陥没部6の周縁には嵌合突起7を設ける。

30

【0010】

図3に示すように、分岐ブレーカ3の負荷名称は負荷名称記入紙8に記入し、負荷名称記入紙8は、図面収納用カバー9に挟む。図面収納用カバー9は、二つ折りにして負荷名称記入紙8を挟持する形状で、負荷名称記入紙8を挟持した状態でも負荷名称が記入できるように記入孔10が設けられている。

【0011】

図面収納用カバー9は、カバー4に設けられている陥没部6に図面を折りたたんで載置した状態で嵌合突起7に嵌合させて用いる。また、図面収納用カバー9は、二つ折りにした状態で上側の面を下側の面より小さくすれば、図面収納用カバー9をカバー4に嵌合させた状態で開閉することができる。図面収納用カバー9の上側の面には開閉するためのつまみ部11を設けさらに開閉しやすくする。

40

【0012】

図4は図1におけるA-A断面図であり、図5に図4の拡大図を示す。カバー4の陥没部6に図面12を折りたたんで載置する。そして、負荷名称記入紙8を挟んだ図面収納用カバー9を図面12を被覆するように嵌合突起7に嵌合させる。このように図面12を収納しながら負荷名称を表示する。

【0013】

【発明の効果】

以上のように本発明に係る住宅用分電盤は、カバーには、負荷名称を表示するための陥没部を設けると共に、陥没部の周縁部には嵌合突起を設け、分岐ブレーカの負荷名称を記

50

入した負荷名称記入紙は、図面収納用カバーに挟持させ、図面を陥没部に載置し、図面収納用カバーを嵌合突起に嵌合させるため、カバーを取り外さずに図面の収納及び取り出しができ、充電部接触による感電防止となる。また、図面の収納場所は、住宅用分電盤のデッドスペースであるため、ブレーカの操作に支障を来すこともなく、扉のない住宅用分電盤であっても美観を損ねることがない。図面収納用カバーは、カバーから着脱自在であるため、図面の取り出しは容易にできる。図面の収納と負荷名称の表示の構造が一体成形であるため安価に製造することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に係る住宅用分電盤を示す正面図である。

【図 2】 本発明に係る住宅用分電盤のカバーを示す斜視図である。

10

【図 3】 本発明に係る住宅用分電盤の図面収納用カバーを示す斜視図である。

【図 4】 図 1 における A - A 断面図である。

【図 5】 図 4 の要部断面図である。

【図 6】 従来技術における住宅用分電盤を示す説明図である。

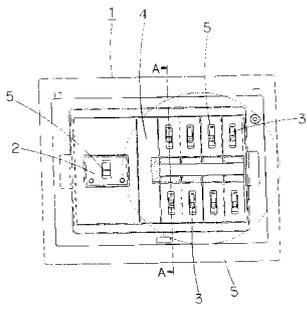
【図 7】 第二の従来技術における住宅用分電盤を示す断面図である。

【符号の説明】

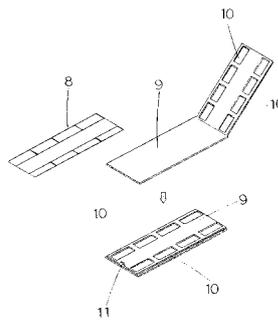
- 1 基台
- 2 主幹ブレーカ
- 3 分岐ブレーカ
- 4 カバー
- 5 開口
- 6 陥没部
- 7 嵌合突起
- 8 負荷名称記入紙
- 9 図面収納用カバー
- 10 記入孔
- 11 つまみ部
- 12 図面

20

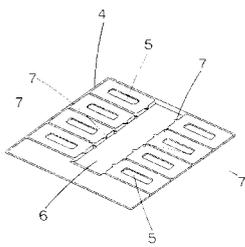
【 図 1 】



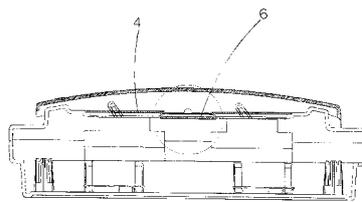
【 図 3 】



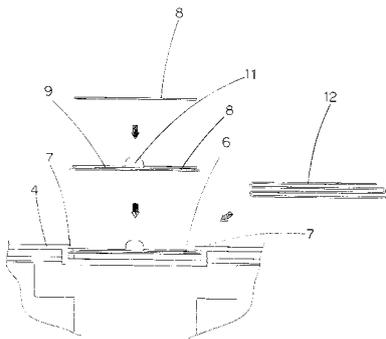
【 図 2 】



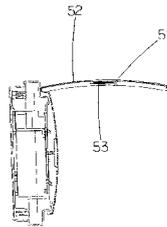
【 図 4 】



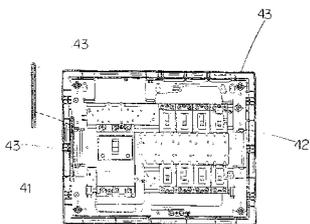
【 図 5 】



【 図 7 】



【 図 6 】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , DB名)

H02B 1/30, 1/40,

G09F 7/18